



秋田県立能代支援学校教育プラン

令和5年度～9年度

I 学校の現状と課題・学校を取り巻く将来の状況の予測

〔前プランの成果を踏まえた学校の現状と課題〕

- 1 児童生徒数は、近年90人台で推移している。発達障害（25%）や肢体不自由（10%）のある児童生徒がおり、一人一人の実態に応じた指導の充実が必須である。特に、自立活動の指導により、児童生徒が学習上又は生活上の困難を改善・克服する力を継続して育むために、効果的な指導方法を共有する必要がある。
- 2 コロナ禍において、地域資源を活用した特色ある教育活動を検討した。地域の課題を見だし、その課題解決を図るなど、「地域貢献」をキーワードにして地域へ参画する学習を創造した。好事例を共有し取組を学校全体へ波及させたい。また、校内の資源を見直し、畑や果樹園等に加え、植樹林「思い出の森」を活用し、環境教育を含んだ取組として教育課程に位置付けた。工夫を加えながら継続し充実を図りたい。
- 3 授業研究を通して、児童生徒が主体的に学習に取り組み、他者と協力して課題の解決策を考え、学習の成果を表現するなど、確かな成長を引き出すノウハウが蓄積できた。また、生活単元学習における児童生徒の成長を、各教科等に示す「育成を目指す資質・能力」の観点で「学び」として捉えた。今後は、一人一人の児童生徒の学びの履歴を踏まえ、入学から卒業まで一貫した指導ができるよう教育計画や体制を整備したい。
- 4 早期からの職業教育の充実を目指し、作業学習を中心とした中学部からの職業教育の充実を図った。職場定着については、事業所と協働してキャリアアップを目指す新たな移行支援の方策を考案し、移行支援計画の新様式にまとめた。今後は、学部間連携及び事業所等との連携による一貫した指導の充実及び支援の拡充を図る必要がある。
- 5 ICT機器の活用が進んだ。今後は、例えば重度重複の児童生徒の意思の表出について、ICT機器を代替手段として活用することと併せて、言葉を育む指導を関連付けること、意思の共有を通じたコミュニケーション能力や社会性を涵養することなど、自立活動の観点及び「育成を目指す資質・能力」を明確にして指導を進めたい。
- 6 小・中学校との居住地校交流については、オンライン形式も含めて実施している。事前学習として実施した障害理解授業が効果的で、当日の交流活動の充実につながっている。今後は、高校を含み通常の学級の保護者を対象とした障害理解授業を展開したい。
- 7 センターの機能については、地域の小・中学校等のニーズに応じた研修や相談対応ができた。今後は、潜在するニーズへの対応として、特に特別支援学級の専門性向上に有益な情報を提供できるよう自校のもつノウハウを分かりやすくまとめる必要がある。

〔学校を取り巻く将来の状況の予測等〕

- 在籍児童生徒の教育的ニーズに応じた指導及び支援のより一層の充実が求められるであろう。必要に応じて関係機関との連携により生活全般や将来を見通した支援を行うなどしながら、自立と社会参加に向けた学習が効果的に行える環境を整えたい。
- 特別支援教育のセンターとして、地域の「多様な学びの場」の実践の向上に寄与する取組や連携の充実が求められるであろう。教育委員会や小・中学校等との良好な関係を基盤に、地域における特別支援教育の課題解決に向けた地域支援の充実を図りたい。

II 目指す方向性・学校像や児童生徒の姿

〔目指す方向性・学校像〕

- もっている力を存分に発揮し、主体的に学ぶ児童生徒を育てる。
- 思いやりの心を持ち、互いに認め合う児童生徒を育てる。
- 人と関わり合いながら、地域で豊かに暮らし、社会参加する児童生徒を育てる。

〔目指す児童生徒の姿〕

- 明るく元気な子 - 心と体を鍛え、笑顔で生活する児童生徒
- 仲良く助け合う子 - 思いやりの心を持ち、共に遊び学ぶ児童生徒
- 喜んで働く子 - 挑戦する気持ちをもち、自ら考え、進んで行動する児童生徒

Ⅲ 具体的な目標・取組・推進指標

- 1 特色ある教育課程の編成と組織的で効果的な実施
 - ・安全・安心な環境と規律に基づく秩序ある学校生活の徹底
 - 【感染症予防の徹底～毎日、避難訓練：年3回、地域との防災訓練：年1回】
 - 【学部集会及び学級活動、ホームルーム等での指導～計画的な実施】
 - ・主体的な係活動及び個別の課題解決を図る自主学習の実施
 - 【日常生活の指導における「個別課題学習」の実施～毎日】
 - ・心身の健康の維持と心理的な安定を図る効果的な指導と保護者連携
 - 【自立活動、保健体育、体育的活動を通じた指導・支援～計画的実施】
 - ・校内外の資源を活用した特色ある教育活動の充実
 - 【地域資源を活用した活動や地域貢献活動～計画的実施】
 - 【居住地校交流～障害理解授業及びオンライン形式を含めた効果的な実施～小・中学部とも在籍者の50％台実施の維持】
 - 【「思い出の森」を活用した学習～集会、下草刈りなど全校縦割り活動：各2回】
 - ・キャリア発達を促す学級活動、早期からの職業教育の充実
 - 【キャリアノートの活用、作業学習の改善、キャリア発達を踏まえた移行支援～随時】
- 2 個に応じ、確かな成長を促す効果的な学習及び生徒指導の推進
 - ・自立活動に係る指導計画及び実践の組織的改善
 - 【教育専門監及び学部主事等を活用した計画の検討・改善～計画的実施】
 - ・学びの履歴に基づき「育成を目指す資質・能力」を明確にした計画と評価
 - 【観点別学習評価表を活用した計画と記録（学びの履歴）～前期・後期】
 - 【観点別学習評価表と年間指導計画の関連付けによる教育計画作成の効率化】
 - ・児童生徒による日常的な目標設定及び自己評価の機会設定
 - 【学級活動またはホームルームでの指導の充実～毎週】
 - 【各学習活動での振り返り～原則毎時間】
 - ・児童生徒の関わり合い、学び合い、支え合いを促す集団学習の工夫
 - 【好実践の蓄積と共有による授業改善～全校授業研究会：年3回】
 - ・代替手段及び理解・調査・思考・表現等の手段としてのICT機器活用促進
 - 【好実践の蓄積と共有による授業改善～全校授業研究会：年3回】
 - ・生涯学習を見通した学習活動及び部活動、公民館等のセカンドスクールの活用の促進
 - 【生涯学習につながる学習活動及び部活動の内容の工夫：随時】
 - 【公民館等との連携による生涯学習の機会提供：計画的実施】
- 3 教師の専門性向上に向けた効果的な指導方法の共有と研修の推進
 - ・効果的な指導方法の共有
 - 【効果的な指導方法を集約した「能代スタンダード」の作成と活用】
 - ・ICT機器活用に係る研修の充実
 - 【年3回の研修会、実践例の蓄積～随時 ICT機器を活用して指導可能な教員の割合：令和9年度までに95％を達成】
 - ・授業研究会と日常の指導へのフィードバック
 - 【全校研究会及び年次研修の成果共有、教育専門監等による授業改善相談～随時】
- 4 地域のニーズに応えるセンター的機能の充実
 - ・ニーズに応じた地域支援活動（情報提供、教育相談等）
 - 【地域向け研修会：年3回、障害理解授業の積極的な実施】
 - 【特別支援学級への情報提供及び研修支援「能代スタンダード」の紹介等～随時】